

## 婚姻届の記載例

(1) 氏名・生年月日

戸籍謄本または戸籍全部事項証明書に記載されている氏・名  
で書いてください。

※戸籍に記載されている氏名が、例えば「邊」など旧字で記載されている場合、別途申出により「辺」に更正することができます。  
詳しくは、ご相談ください。

(2) 住所

住民票のあるところを書いてください。

### (3) 本籍

本籍の表示は、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書に記載されているとおりに書いてください。

※当事者が外国人のときは、本籍欄に国籍を書いてください。(例「国籍〇〇」)

※筆頭者氏名は、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書のはじめに記載されている方の氏名を書いてください。

※父母との続柄は、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書に記載されているとおりに書いてください。

※養子縁組をされている方は、養父母の氏名を書いてください。

## (4) 婚姻後の夫婦の氏

※日本人同士の婚姻の場合は、必ずいずれかを選択してください。

◆夫の氏を称する場合

☒ 夫の氏☐妻の氏

### ◆妻の氏を称する場合

☐ 夫の氏☒妻の氏

## 新しい本籍

※新本籍の欄には、この婚姻により新戸籍を編製することになりますので希望する本籍を書いてください。(上記✓の人が筆頭者の場合は除きます。)

※本籍の表示は、住居表示を実施している市区町村では「番地」に代えて街区符号の番号「○番○号」の内「○番」を用いることもできます。

〔例〕【住所】広島市〇〇区〇〇町〇番〇号

→【新本籍】広島市〇〇区〇〇町〇番

※日本人と外国人が婚姻するとき、日本人が筆頭者でない場合、  
新戸籍を編製することになりますので希望する本籍を書いてく  
ださい。

## 婚姻届

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日届出	受理 令和 年 月 日 第 号														
広島市 ○ 区 長 (届 出 先)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">青顔調査</td> <td style="width: 12.5%;">戸籍記載</td> <td style="width: 12.5%;">記載調査</td> <td style="width: 12.5%;">調査票</td> <td style="width: 12.5%;">附 票</td> <td style="width: 12.5%;">住 民 票</td> <td style="width: 12.5%;">通 票</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	青顔調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住 民 票	通 票							
青顔調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住 民 票	通 票									

  

(1)	(フリガナ) 氏 名	夫 にな る 人	妻 にな る 人
	氏 名	氏 名	氏 名
	生 年 月 日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成
(2)	住 所	広島市中区国泰寺町一丁目	広島市東区東蟹屋町
	(住民登録を しているところ)	番地 4 番 21-101 号	番地 9 番 38-202 号
(3)	本 籍	広島市南区皆実町一丁目	広島市西区福島町二丁目
	(外国人のときは 国籍だけを記入 してください)	100 番地 番	2 番地 番
	父母及び養父母 の 氏 名 父母との続き柄 (右記の養父母以外にも養 父母がいる場合にはその 他の欄に記入してください)	父 氏 名 母 氏 名 養父 氏 名 養母 氏 名	続き 柄 長 男 続き 柄 養 子
(4)	婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	<input type="checkbox"/> 夫の氏 <input checked="" type="checkbox"/> 妻の氏 新本籍(左の○の氏の氏がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かなくてください) 広島市中区国泰寺町一丁目	
	同居を始めたとき	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	
(5)	初婚・再婚の別	<input type="checkbox"/> 初婚 再婚 ( <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 )	
	同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用労働者世帯で勤め先の従業員数が1人から 99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用労働者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満 の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(6)	夫妻の職業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 妻の職業	
	その他		
届出人署名 (※押印は任意)			

### 届出人署名

各自署名(婚姻前の氏)をしてください。  
押印は任意です。

※「消せるボールペン」では書かないで  
ください。

		証		人	
署 (印押印は任意)	名	●●	△△	印	○○ ○○
生	年 月 日	○ 年 ○ 月 ○ 日	○ 年 ○ 月 ○ 日	○ 年 ○ 月 ○ 日	○ 年 ○ 月 ○ 日
住	所	広島市安佐南区古市一丁目		広島市安佐北区可部四丁目	
		33	番 34 号	13	番 13
本	籍	広島市安芸区船越南三丁目		広島市佐伯区海老園二丁目	
		4	番地	200	番地

証人

証人になる方は、成年に達している人で、この婚姻の事実を知っている人であればどなたでもなれます。(2人必要です。)

※生年月日・住所・本籍も届出人と同様、省略せず書いてください。

証人署名

各自署名をしてください。押印は任意です。

#### (6) 初婚・再婚の別

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。

婚姻により、住所を異動する人は、併せて住民異動届をしてください。この場合、市外から市内に住所を異動する時は、転出証明書が必要です。

夫になる人の連絡先  
(昼間連絡のとれるところ)  
☐ 自宅 ☒ 携帯 ☐ 勤務先  
(○○○) ○○○○-○○○○

妻になる人の連絡先  
(昼間連絡のとれるところ)  
☐ 自宅 ☒ 携帯 ☐ 勤務先  
(000) 0000-0000

連絡先

※平日午前 8 時 30 分から午後 5 時  
15 分の間で連絡の取れる電話番号  
を書いてください。